



松尾 俊介・猪居 謙 ギターデュオコンサート2024

3年ぶりのデュオコンサート、
絵画に囲まれた音響空間で入魂のプログラムを！



Program

G. ロッシーニ/M. ジュリアーニ編
《セビリアの理髪師》序曲

M. カステルヌオーヴォ=テデスコ
ソナティナ・カノニカ

F. ソル
アンクラージュマン Op. 34

S. アサド
3つのブラジルの情景

E. モリコーネ/鈴木大介編
ニュー・シネマ・パラダイス

ほか

2024年 7月6日(土)
15:00 開演 (14:30 開場)

<京都> 遠藤剛熙美術館

チケット

一般 4,000円 学生 2,000円

チケット・お問い合わせ

株式会社サロット

075-746-6813 / info@salotto-kyoto.com

Access



こうき
遠藤剛熙美術館

京都市下京区猪熊通高辻下ル
(阪急「大宮」より徒歩7分)

<https://www.gohki.com/wp/>



Profile

松尾 俊介

パリ国立高等音楽院ギター科を審査員満場一致の首席で卒業。2005年、古楽と現代音楽に焦点を当てたファーストアルバム「ヴァリエ1」をリリースし、トッパンホールにてデビュー・リサイタルを開催。その後はHAKUJUギターフェスタ、ベオグラード国際ギターアート・フェスティバル、サラエボの冬などの音楽祭に招かれるほか、東京オペラシティ「B→C」、東京春音楽祭、ザ・シンフォニーホール「未来の巨匠がつなぐパトロンリレーコンサート」シリーズなどに出演。これまでに東京交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団等のオーケストラと共演し、ソリスト、室内楽奏者として、邦楽との共演や新作の初演など多彩な演奏活動を展開している。

2016年に開催された武満徹没後20周年を記念したリサイタル「武満徹へのオマージュ」がNHK-FM「現代の音楽」で放送されたほか、パッハ作品をはじめ多数の編曲を手掛け、2019年には史上初のギター伴奏によるシューベルト「白鳥の歌」全曲演奏が高い評価を得る。一般財団法人地域創造公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト。

ギターを渡部延男、福田進一、アルベルト・ボンセ、キャレル・アルムス、オリヴィエ・シャッサンの各氏に、古楽をエリック・ベロック氏に、室内楽をラスロ・ハダディ、上田晴子の各氏に師事。

CDは2008年マヌエル・ボンセ作品集「Varie4/Ponce Guitar Works」、2013年には自身がすべての編曲を手がけたパッハのリユート作品を中心とした「ギターが奏でるパッハの世界」、2015年「トリアエラ〜ローラン・ディアンス作品集」、2016年「エキノクス〜武満徹へのオマージュ」をリリース、いずれもレコード芸術誌特選盤に選ばれる。最新アルバムはウィーン音楽集「ビーダーマイヤー」「ザ・マディー・カトリオ」。

松尾俊介Webサイト:<http://shunsukematsuo.com>

猪居 謙

ギターを猪居信之、福田進一、T.ミューラー=ペリング各氏に師事。ピアノ、ソルフェージュを勝間恵子氏に師事。ドイツ国立フランクフルト音楽大学卒業。同大学院修士課程修了。キジアーナ音楽院(イタリア)にてO.ギリア氏指導の下、最優秀ディプロマを取得。

ギター音楽大賞優勝をはじめ、コブレンツ国際ギターコンクール(ドイツ)、J.K.メルツ国際ギターコンクール(スロバキア)など数多くの国内外のコンクールで受賞。

2011年、NHK-FM放送「名曲リサイタル」に出演。15年3月に、日本を代表するギタリストである福田進一氏プロデュースの下、マスターミュージックよりデビューアルバム「ソナタ・ジョコサ」をリリースし、レコード芸術誌にて特選盤に選ばれる。16年、NHK-FM放送「リサイタル・ノヴァ」に出演。同年夏に東京で行われた「第11回Hakujuギター・フェスタ2016〜武満徹へのオマージュ2」では、若手ギタリストの登竜門として名高い「旬のギタリストを聴く」に出演し好評を得る。2019年7月には2枚目のアルバムとなる「Ricordi」をフォンテックより発売。現在、関西を中心に日本全国で演奏活動を精力的に行うと同時に、門下よりコンクール優勝者、入賞者を多数輩出するなど、指導者としても注目を集めている。